



松戸の人々の生活を探る 館蔵資料展「古文書をみる、絵図をよむ 江戸時代編」

令和4年7月16日（土）から松戸市立博物館で、市内の旧家から寄贈された古文書^{こもんじょ}を中心に、絵図や浮世絵を展示する館蔵資料展「古文書をみる、絵図をよむ 江戸時代編」を開催します。

- 会 期 令和4年7月16日（土）～8月28日（日）
※月曜日休館（祝日の場合は開館し、翌日休館）
※8月26日（金）は、館内整理日につき休館

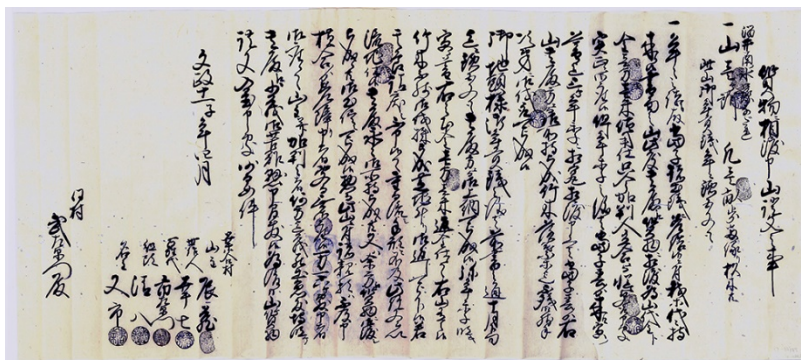
プレス展示内覧会 令和4年7月15日（金）14時～15時

- 開館時間 9時30分～17時（入館は16時30分まで）
- 会 場 松戸市立博物館、企画展示室
- 観 覧 料 無料
- 展示のポイント

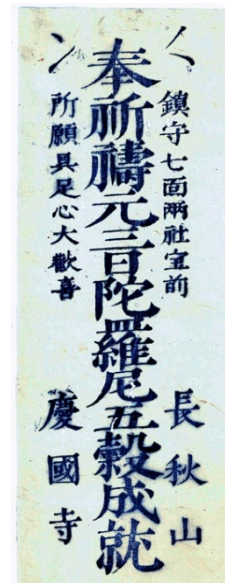
江戸時代、いまの松戸市域には60近くの村があり、名主・組頭・百姓代^{ひやくしやうだい}の三役人が村を運営しました。領主と村の間で行き来する命令や要望は文書で行われたため、たくさんの古文書^{こもんじょ}が残されました。本展示では、秋山村（現、松戸市秋山）と大谷口村（現、松戸市大谷口）を中心に、納税や借金・離婚などのさまざまな種類の古文書や、村の様子を描いた絵図・浮世絵などから、江戸時代の人々がどのような生活を送っていたのかを探ります。

●展示構成

当時の戸籍にあたる宗門人別帳^{しゅうもんじんべつちやう}、離縁状^{りえんじやう}、借用証文^{しやくよしやうもん}など、村人の日常に関する古文書から、江戸時代の村人の生活を探ります。



「質物二相渡申候山証文之事」：幸谷村（現、松戸市幸谷）に残された、文政11年（1828）の金銭借用に関する古文書

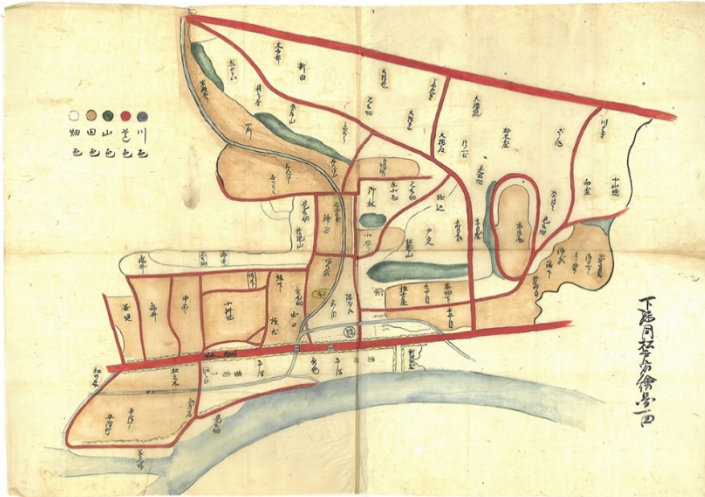


「長秋山慶國寺御札」：慶國寺（現、松戸市秋山）が江戸時代に配っていたお札



また、大地震・コレラの流行・外国船の来航など、幕末の日本を揺るがした大事件を伝える古文書も展示します。

江戸時代は、絵と文字を使った絵図が多数残されました。道や川、野山や田畑が描かれ、いまでは無くなった地名が書かれていることもあります。また、外国船の来航や名所の伝説を伝えた印刷物や浮世絵なども展示します。



「下総国松戸宿絵図面」:江戸時代の松戸宿周辺の絵図。
土地の地名がよくわかる



「近江国むかで山ゆらい」:俵藤太(藤原秀郷)の近江国瀬田の唐橋でのムカデ退治伝説についてのかから版



「小金牧絵図(複製)」:小金牧全体を描いた絵図。利根川・江戸川・手賀沼の位置から、牧の広大さがわかる。



やさシティ、まつど。
matsudo

●関連事業

学芸員講演会「古文書からさぐる松戸の江戸時代」

日時 令和4年7月31日（日）13時～15時

講師 当館学芸員・富澤 達三

歴史を語る「(仮題) 近世松戸の村とくらし」

日時 令和4年8月6日（土）13時～15時

講師 江東区文化財主任専門員・出口 宏幸氏

【本件に関する問い合わせ先】

〒270-2252 松戸市千駄堀671

松戸市生涯学習部文化財保存活用課博物館 ☎047-384-8272

FAX047-384-8194 ✉ mchakubutsukan@city.matsudo.chiba.jp

松戸にまつわる
古文書や絵図、
浮世絵を

「よむ」。
じっくり
「みる」、
じっくり

絵

図をよむ

この夏は
そんなひとときを。

江戸時代編



松戸市立博物館
MATSUO MUSEUM

〒270-2252 千葉県松戸市千駄堀671
Tel. 047-384-8181
<http://www.city.matsudo.chiba.jp/m-muse/>

古文書をみる

館蔵資料展

令和4年 7月16日〔土〕
8月28日〔日〕

観覧無料

開館時間 = 午前9時30分～午後5時
*入館は閉館の30分前まで
休館日 = 毎週月曜日、8月26日(金)
*7月18日(月)は開館し、翌日休館

後援 = (公財)松戸市文化振興財団
協力 = 新京成電鉄株式会社、流鉄株式会社、
北総鉄道株式会社

古文書(右):五人組帳 絵図(左):小金牧絵図(複製)

古文書をみる
絵図をよむ

江戸時代編

隅々まできめ細かく丁寧に
松戸の古文書や絵図を読み解きます。

関連イベント

学芸員講演会

「古文書から探る松戸の江戸時代」(友の会共催)

講師：富澤 達三(当館学芸員)

日時：7月31日(日)13:00~15:00

定員：75名 聴講無料 申込：事前申込・抽選

【申込方法】webまたはハガキでのお申込みとなります。

* 詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。

歴史を語る

「(仮)近世松戸の村とくらし」

講師：出口 宏幸氏(江東区文化財主任専門員)

日時：8月6日(土)13:00~15:00

定員：80名 聴講無料 申込：事前申込・抽選

【申込方法】webまたはハガキでのお申込みとなります。

* 詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。

新型コロナウイルス感染症対策について

当館では、皆さまに安心してご観覧いただくため様々な対策を徹底しうえて開館しております。感染症拡大の状況によってはイベントの内容変更、中止になる場合がございます。最新の情報は当館ウェブサイト、SNS等でご確認ください。皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

アクセス

①新京成線「八柱駅」・JR武蔵野線「新八柱駅」下車、徒歩15分。または松戸新京成バス小金原団地循環が新松戸駅行「森のホール21 公園中央口」下車すぐ。②JR常磐線・武蔵野線「新松戸駅」下車、松戸新京成バス八柱駅行「森のホール21 公園中央口」下車。地下道通ってすぐ。●来館者専用の駐車場はございませんので、お車で越しの方は21世紀の森と広場の有料駐車場をご利用ください。尚、障害者専用駐車場をご用意しております。詳しくはお問い合わせください。

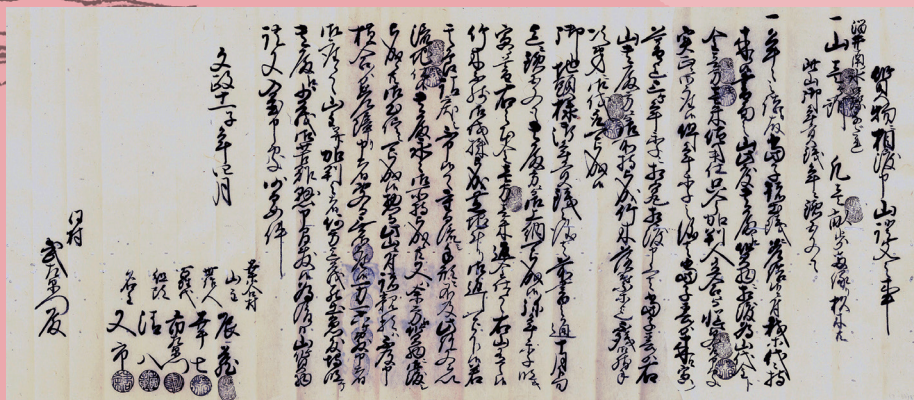


松戸市立博物館
MATSUDO MUSEUM

〒270-2252 千葉県松戸市千駄堀671

Tel.047-384-8181

http://www.city.matsudo.chiba.jp/m.muse/



質物二相渡申山証文之事



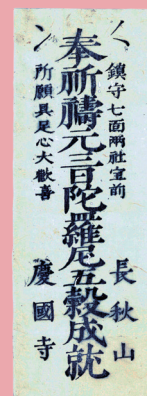
下総国松戸宿絵図面



富士三十六景「鴻の台とね川風景」



御用留(安政六年)



御札(長秋山慶國寺)

江戸時代、いまの松戸市域には六十近くの村があり、名主・組頭・百姓代の三役人が村を運営しました。領主から村への命令や通達、村から領主への要求は文書で行われたため、一般の農民にも読み書き能力が必要でした。納税から借金・離婚・喧嘩の仲裁の文書や、村同士の争いでは村絵図も作られました。これらは旧家で大切にされ、地域の歴史を伝える貴重な記録として、今に残されています。本展示では、おもに秋山村(現、松戸市秋山)と大谷口村(現、松戸市大谷口)の古文書、絵図や印刷物などから江戸時代の村の人々が、どのような生活を送っていたのかを探ります。

